

【安全情報】 ミシガン州南東部における A 型肝炎に関する注意喚起

平成 29 年 12 月

【ポイント】

- ・ ミシガン州南東部で A 型肝炎への感染事案が多発しています。
- ・ 予防接種、入念な手洗い、消毒、飲食物や食器を共有しない、など感染予防に注意するようお願いします。

【本文】

ミシガン州保険局によると南東部で A 型肝炎への感染が多発しているとのことです。同局によると、本年 12 月 7 日現在で 583 件の感染が確認され、うち 20 件が死亡しています。

特にマコーム郡で 177 件、デトロイト市で 143 件、ウェイン郡で 104 件、オーランド郡で 86 件と、1 市 3 郡で全体の 87% が発生しています。

同保険局は、原因は現時点で判明しておらず調査中としていますが、予防策として、①A 型肝炎の予防接種、②トイレ後や食事及びその準備前の手洗い、③タオルや歯ブラシ、食器等を共有しない、④感染が疑われる者と性行為をしない、⑤飲食物や薬、タバコを他者と共有しない、⑥感染が疑われる場合は直ちに受診する、⑦感染が判明した場合は医療機関等の指示に従うことを呼びかけています。

厚生労働省のホームページによると、A 型肝炎の潜伏期間は 2～6 週間で、発熱、倦怠感に続き食欲不振、嘔吐など重めの風邪に似た症状となり、更に数日後には黄疸（目や皮膚が黄色くなる症状）が現れる場合があるとのことです。

回復には 1～2 か月を要し、重症化した場合には死亡する例もあります。

ミシガン州にお住まいの方は、関連情報の収集に努めるとともに、感染予防に留意し、感染が疑われる場合には速やかに受診するようお願いします。

●ミシガン州保険局

http://www.michigan.gov/mdhhs/0,5885,7-339-71550_2955_2976_82305_82310-447907-,00.html

●関連記事

<https://www.freep.com/story/news/local/michigan/detroit/2017/12/11/hepatitis-outbreak-southeast-michigan/931420001/>

●厚生労働省 HP

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/hepatitis/392-encyclopedia/320-hepatitis-a-intro.html>